

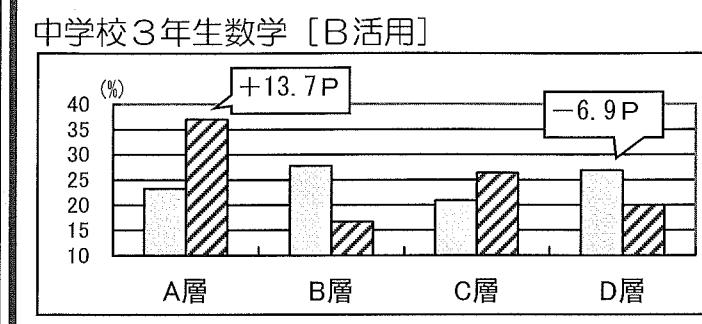
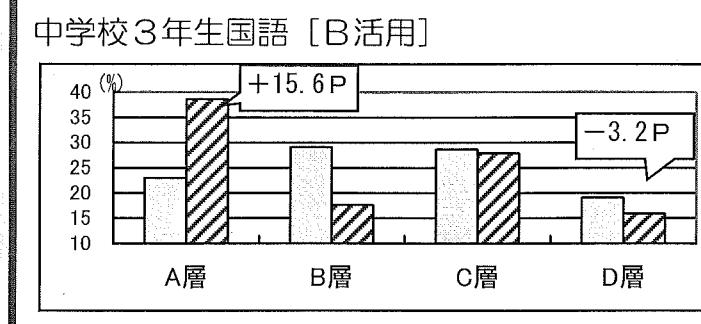
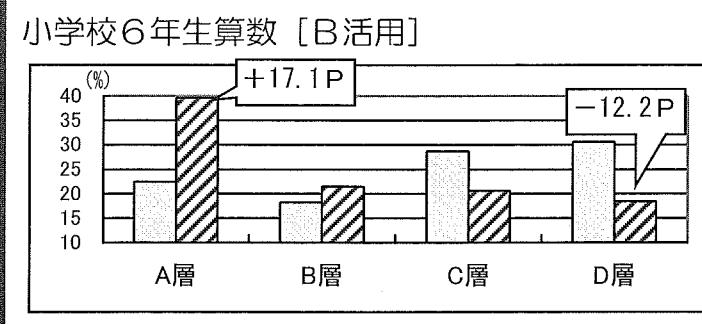
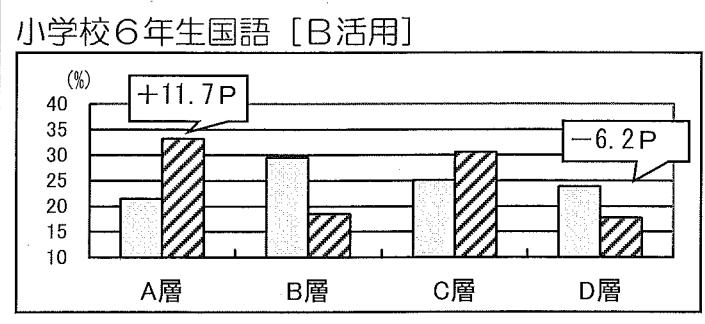
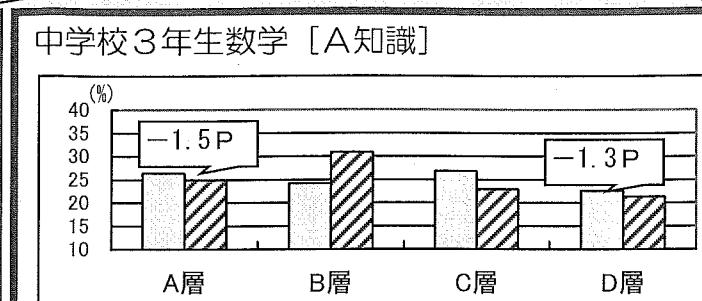
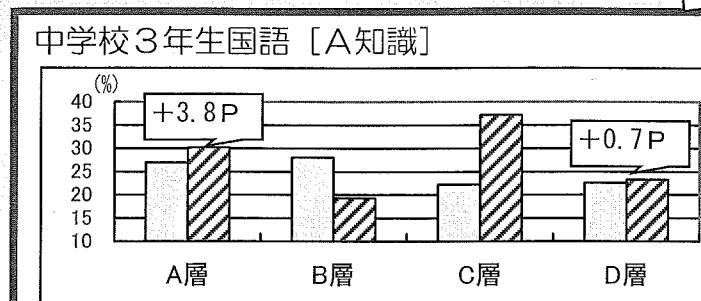
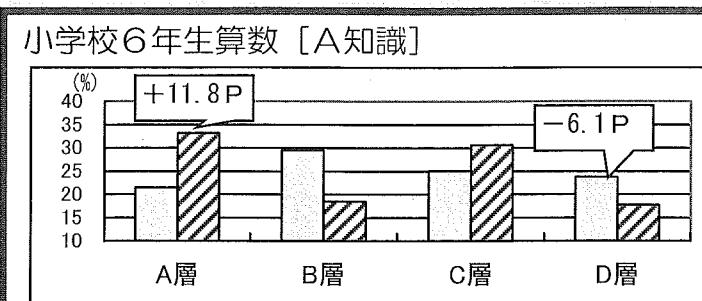
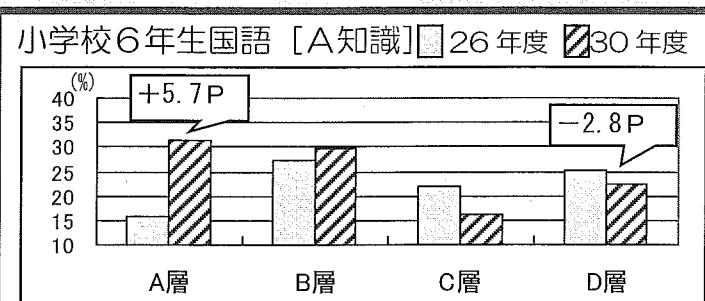
平成31年度 立川市教育委員会 学力向上推進事業

令和元年5月16日(木)
第9回教育委員会定例会資料
教育部指導課

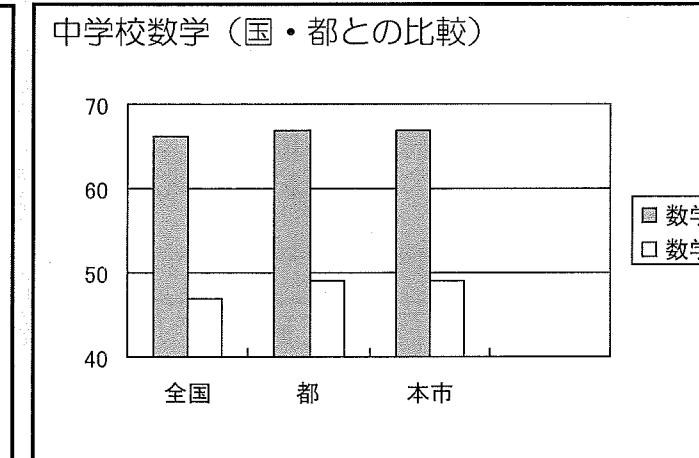
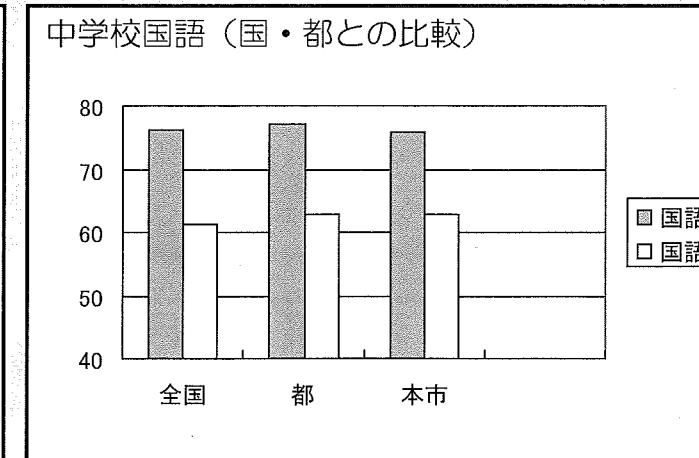
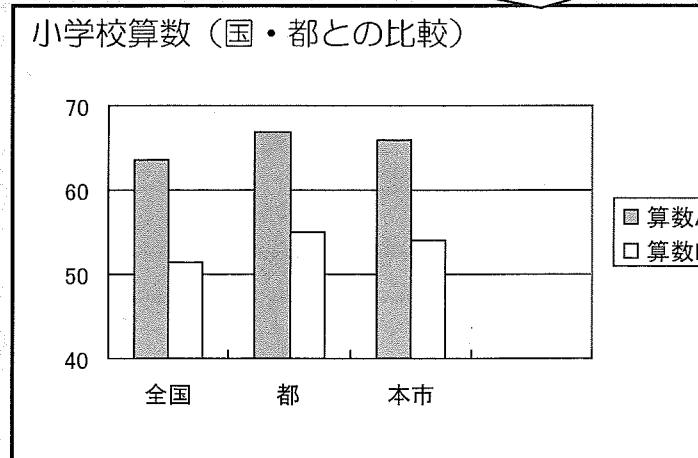
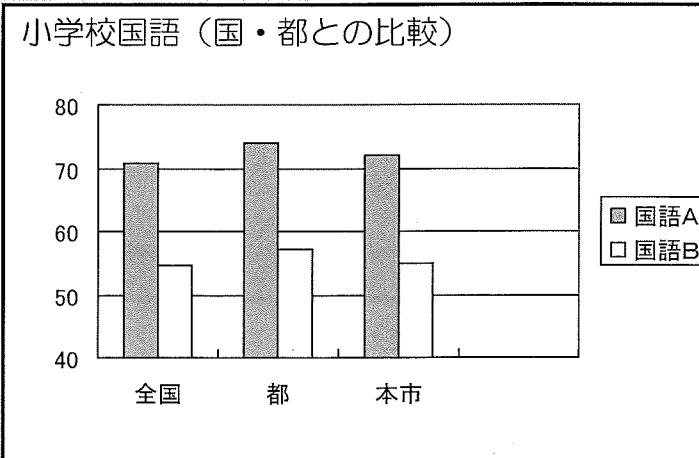
I 「全国学力・学習状況調査」結果

過去の結果との比較

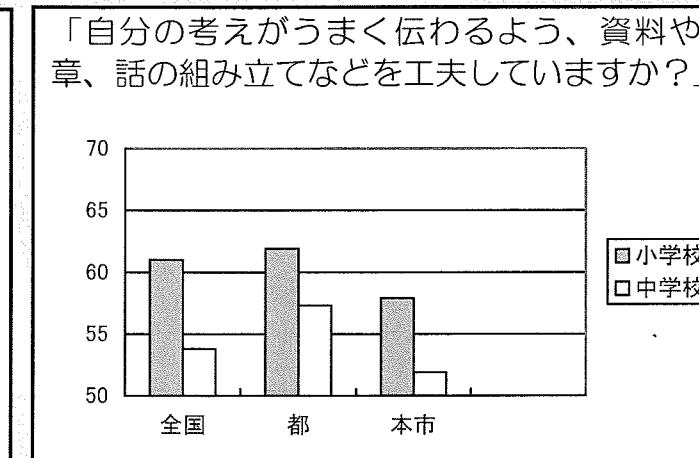
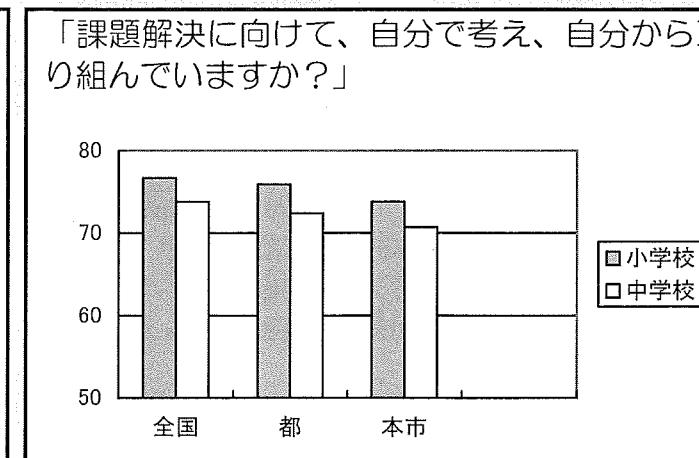
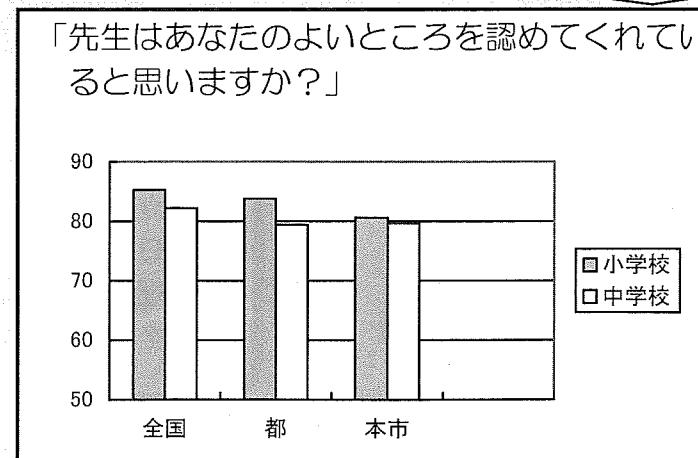
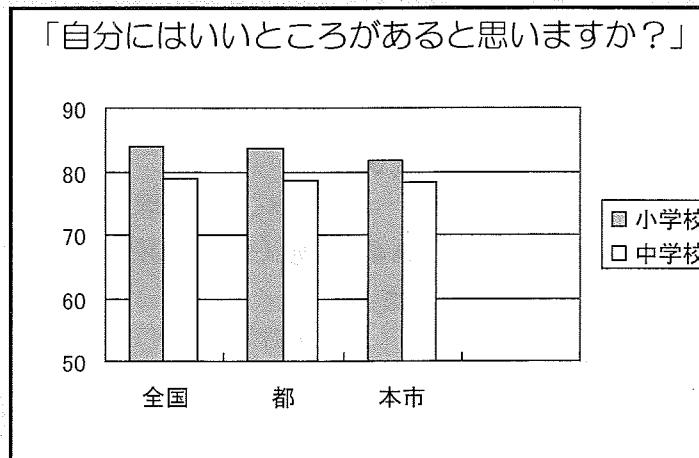
A層が増え、D層が減少。BC層のさらなる向上へ。



30年度結果の国・都との比較



意識調査結果の国・都との比較



小学校において自己肯定感が低い傾向がみられる。小中学校ともに自主的に学習する姿勢が弱い傾向がみられる。

II 立川市の傾向

- 成果** ①多くの項目でD層が減少し、A層が増加していることから、これまでの取り組みが一定程度の成果を上げていることがわかる。
②全教科で全国平均とほぼ同値か上回る調査結果となっている。特に算数・数学において全国平均を上回る結果となっている。
③中学校において生徒の自己肯定感が都の平均値とほぼ同値となっている。
- 課題** ①C層及びB層については、教科や項目によって増減が異なる様子がみられるところから、C層の児童・生徒がB層へ、B層の児童・生徒がA層へと学力を伸長させていく取り組みが必要であることがわかる。
②小学校国語のB（主として活用）、中学校国語のA（主として知識）の問題に関する指導において、都の平均と差がみられ、指導の改善が求められる。
③自己肯定感に関する意識調査において小学校で全国及び都の平均より低い反応率となっている。
④小中学校ともに、児童・生徒が主体的に学習に臨み、工夫しながら取り組もうとする姿勢に関する意識調査において、全国及び都の平均よりも低い反応率となっている。

○課題の解決に向けて

- A層からD層のそれぞれの児童・生徒の実態に即した手立てを日々の学習の中で講じていく必要がある。このことを実現する方策として、「立川スタンダード（基本的指導過程）20」を活用していく。学習の基本的な過程が示されていることにより、各学校、各学級に応じた調整、変更を加えた実施を促していく。
- 国語科の学習における言語活動を、児童・生徒の実態に即して展開することにより、国語科の授業改善を進める必要がある。
- 児童・生徒一人一人が安心して学習に臨める学級風土づくりを進め、自らの良さに気づき、他人の良さを認めることができるような学習環境づくりを進める。
- 児童・生徒が自ら工夫して学習に臨むことができるよう、習得・探求・活用を意識したカリキュラム・マネジメントを進める。

III 施策の方向性

○習熟の程度に応じた教育施策の展開

- ・習熟の早い層と遅い層への施策

○学びに向かう意欲・態度の向上に向けた施策の展開

- ・学級力の向上
- ・コミュニケーション能力の向上

○幼保・小中連携教育の推進

- ・立川就学前スタンダード20の活用

○キャリア〈生き方〉教育の充実

- ・立川夢・未来ノート（夢・将来就きたい職業（理由）、計画（短期・中長期））

○意欲はあるが、学習の機会に恵まれない子供への対応

- ・小学校：地域未来塾
- ・中学校：スタディ・アシスト事業（進学支援）

○授業観察を生かした、児童・生徒の実態に即した授業改善

- ・管理職による授業観察
- ・指導課による授業観察に基づいた指導・助言

IV 習熟度（C・D層）に応じた施策

～基礎的・基本的な知識・技能～

1 学びの複線化：補習の実施（学力の定着）

- ・「地域未来塾」事業の活用〔放課後・土曜日・長期休業日〕
⇒小中学校：学習指導員の派遣：基礎的・基本的な知識・技能の習得

2 立川スタンダード20の活用

- ⇒C・D層の児童・生徒に即した手立てを講じることにより、
主体的、対話的で深い学びに向けた授業改善の充実

3 東京ベーシックドリルのPDCAサイクル化（電子化）

4 家庭学習の手引きの作成・配布

5 PASEO（理科支援員）の配置

6 指導課訪問による授業力の向上

7 研究指定校事業のPDCAサイクル化

V 習熟度（A・B層）に応じた施策

～思考力・判断力・表現力等～

1 学びの複線化：補習の実施（学力の伸長）

- ・「地域未来塾」事業の活用⇒小学校：学習専門員（企業等との連携）の派遣：思考力・判断力・表現力等の育成

- ・「スタディ・アシスト事業」の活用⇒中学校：学習専門員（企業等との連携）の派遣：進学支援・進路指導

2 「立川スタンダード20」を活用した授業改善の充実

- ⇒A・B層の児童・生徒に即した手立てを講じることにより、
主体的、対話的で深い学びに向けた授業改善の充実

3 教育力向上推進モデル校事業のPDCAサイクル化

4 立川版科学コンテスト・夏季科学講座（中学生）の実施

VI 学びの基盤〈共通施策〉

～学びに向かう意欲・態度、人間性～

1 キャリア〈生き方〉教育の充実

- ・立川夢・未来ノートの開発

2 「立川学級力スタンダード」の活用

3 演劇表現を用いたコミュニケーション能力向上講座

4 幼保・小中連携教育協議会（小学校区ごと）の開催

立川就学前スタンダード20の活用

5 教科用図書選定委員会・調査研究部会

6 持続可能な社会づくりに向けた教育の推進

立川市民科の充実：カリキュラム・マネジメントの展開

8 日本英語検定協会による英検IBAの実施（全中学校）

9 理科教育振興事業～Tachi・Rika～

・理科見学の充実
・特別授業の実施等
・実験器具の充実等